別紙２

**全国アビリンピックの概要**

１　目　的

障害者が技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、障害者に対する社会一般の理解を深め、障害者の雇用の促進を図ることを目的とする。

２　主　催

　　独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構及び開催都道府県

３　これまでの開催経緯

　・第１回大会（昭和４７年）から国際アビリンピック開催年を除き毎年開催

・第２６回大会（平成１４年熊本県開催）から、全国各地で原則として技能五輪全国大会と同一場所、同時期に開催

（参考：近年の開催地）

　　・第３１回大会（平成２１年）茨城県

・第３２回大会（平成２２年）神奈川県

・第３３回大会（平成２４年）長野県

４　今後の予定

　・第３４回大会（平成２５年）機構単独開催（開催地：千葉県）

　・第３５回大会（平成２６年）愛知県

　・第３６回大会（平成２８年）山形県

　・第３７回大会（平成２９年）栃木県

　　（※）平成２７年は国際アビリンピック開催年のため、全国アビリンピックは開催せず。

　　　　　第３４回大会は、共催を希望する都道府県がなかったことによる。

５　実施する競技種目（第３３回大会実績）

　・競技職種（種目）：２３職種

　　洋裁、家具、ＤＴＰ、機械ＣＡＤ、建築ＣＡＤ、電子機器組立、電子回路接続、義肢、　　歯科技工、ワードプロセッサ、データベース、ホームページ、パソコン組立、フラワーアレンジメント、コンピュータプログラミング、ビルクリーニング、製品パッキング、パソコン操作、パソコンデータ入力、縫製、木工、喫茶サービス、オフィスアシスタント

　・技能デモンストレーション：３職種

ＩＴ、クリーニング、ベッドメイキング

　・選手参加者数：３１３名

６　参加選手の障害種別（第３３回大会実績）

　　①身体障害者　１５０名　②知的障害者　１４３名　③精神障害者　２０名

７　参加資格

　・１５歳以上の障害者